

令和7年6月8日発行

No. 17

発行

島根県立益田翔陽高等学校同窓会

事務局

赤陵会館内

益田市あけぼの東町13-1

TEL 0856-23-1619

FAX 0856-25-7044

HP <http://shoyo.info/>



益田翔陽高等学校同窓会

会報

令和7年度 第17回 益田翔陽高校同窓会定例総会

【同窓会会長挨拶】

「第17回定例総会を迎え 同窓会変革の年へと」

同窓会会長 大畑 正一



『ご縁は世代を超えて・・・』
出会いと感謝と喜びを

青葉若葉を渡る風に、過行く春が惜しまれる頃となりましたが同窓会会員の皆様には日々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

平素は益田翔陽高校同窓会の運営に對しまして温かい御理解と力強い御支援御協力を賜り誠に有難うございます。同窓会役員一同を代表致しまして心より厚くお礼申し上げます。

さて、長い歴史と素晴らしい伝統を持つ益田翔陽高校同窓会の会長をお預かりしております昭和五五年電気科卒の大畑正一と申します。浅学菲才ではございますが益田翔陽高校同窓会の発展のため全力を尽くし、また皆様の期待に添えるよう努力致す所存で御座います。何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

また本年度より事務局の退任に伴い、同窓会運営における大幅な組織改編を行いました。これまで事務局職員が担当していたすべての事務局業務を同窓会役員で分担し、運営する事となりました。

当面皆様には何かと御不便をお掛けすることと思っておりますが御理解と御協力を賜ります様お願い申し上げます。

さて同窓会は第一七回益田翔陽高校同窓会定例総会の開催に向けて平成九年度卒業生である当番期生の皆さんの準備が昨年末頃から動き出したのですが、年が明けて一月には総会担当の役員と準備委員会の顔合わせを行い名実ともに準備委員会が動き出したのですが、それ以降も準備委員会は何度となく開催され三月二二日に令和七年度の定例総会実行委員会の結成式を開催す

る事が出来ました。その間、学校側では二月二九日に令和六年度の益田翔陽高校同窓会の入会式が行われ総勢一三四名の新入会員をお迎えする事となりました。昨年に比べ二八名多い入会者を迎え厳かで素晴らしい入会式を行う事が出来ました。四月九日には令和七年度の入学式も行われ総勢一四名の新入生を迎え新年度が始まりました。そして実行委員会では令和七年六月八日(日)の定例総会本番に向け本年度のメインスロガンを「ご縁は世代を超えて・・・」サブスローガンを「出会いと感謝と喜びを」と掲げ現在準備を進めているところで御座います。

また本年度は同窓会関西支部総会が九月七日(日)に大阪で開催される予定になっております。お世話を頂く役員の皆様には心より感謝申し上げますと共に関西支部総会の御盛会を心より祈念しております。さて年々少子高齢化の波はこの地域にも押し寄せていて我が校の生徒確保にも大きな影響を与えています。このまま少子高齢化が進むと、生徒減少、学校の小規模化、そしてそれに伴う教育活動への影響が懸念されます。同窓会もこの問題に危機感を持っており学校共々情報共有をしながら様々な取り組みを行きたいと考えています。

益田翔陽高校同窓会はすべての卒業生の心の拠り所でありその定例総会は卒業生一人一人が母校への愛情や誇りを再認識する場でもあります。参加者が年代を超えて連帯感を共有する場でもあるこの定例総会が未永く何時までも受け継がれて参りますよう皆様の御協力を宜しくお願い致します。

結びになりますが益田翔陽高校同窓会の益々の発展と皆様の御健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

(1) 転出者・退職者										(2) 転入者・新任者											
職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名		
教諭	国語	依 伸之退	職	教諭	数学	藤 駿佑平	田	講	師	英語	佐々木 駿益	田	東	講	師	英語	佐々木 駿益	田	東		
教諭	理科	又賀智和島根中央	田	講	師	家庭	島田きさら	摩	講	師	家庭	島田きさら	摩	講	師	家庭	島田きさら	摩	講	師	
教諭	福祉	山岡 進邇	摩	教諭	福祉	山岡 進邇	摩	教諭	福祉	山岡 進邇	摩	教諭	福祉	山岡 進邇	摩	教諭	福祉	山岡 進邇	摩	教諭	
教諭	家庭	曾田 成隠岐島前	田	教諭	家庭	曾田 成隠岐島前	田	教諭	家庭	曾田 成隠岐島前	田	教諭	家庭	曾田 成隠岐島前	田	教諭	家庭	曾田 成隠岐島前	田	教諭	
教諭	家庭	松浦聡子	浜	講	師	英語	向井初輝	益	田	講	師	英語	向井初輝	益	田	講	師	英語	向井初輝	益	田
職名	教科	氏名	前任校	職名	教科	氏名	前任校	職名	教科	氏名	前任校	職名	教科	氏名	前任校	職名	教科	氏名	前任校	職名	
事務主事	電気	伊藤嘉紀	出雲工業	事務主事	電気	伊藤嘉紀	出雲工業	事務主事	電気	伊藤嘉紀	出雲工業	事務主事	電気	伊藤嘉紀	出雲工業	事務主事	電気	伊藤嘉紀	出雲工業	事務主事	
大畑	弘斗	新	規	大畑	弘斗	新	規	大畑	弘斗	新	規	大畑	弘斗	新	規	大畑	弘斗	新	規	大畑	

『これからの十年に向けて』

益田翔陽高等学校 校長 山岡 二三男



全国の益田農林高校、益田工業高校、益田産業高校、益田翔陽高校、益田翔陽高校の卒業生におかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。昨年度も同窓生の皆様から物心と両面におたり、様々なご支援を頂戴いたしましたことを重ねて感謝申し上げます。

さて、令和七年度も早くも一ヶ月がたち、万葉公園の木々も緑の葉が生い茂る五月を迎えました。新たに新入生114名を迎え、令和七年度は346名で学習や生活が順調にスタートできています。

は、「翔陽祭」だけでなく、「緑の市」「夕方ふれあい市」など生徒自身が生産から販売までの実践的な体験学習に取組みました。購入して頂く地域の方々の笑顔に触れ、信頼され愛されていることを実感できる貴重な経験となりました。また、全学科とも2年次9月にはインターンシップで多くの地元企業にお世話になり、その後の県外研修を含めて進路目標設定に繋がっています。3年次全員が取り組む課題研究も各科目と毎年進化しており、ものづくりの楽しさを伝える研究、身近な疑問に着目した研究、郷土を発展させるための研究等、各自3年間学んできたことを活かしての立派な発表でした。

部女子個人優勝者も出ました。文化部も各部とも活発に取り組んでおり、どの部活動も立派に文武両道を実践してくれました。今春の卒業生諸君の進路結果については、就職関係が、県内就職36名・県外就職28名・公務員9名とほぼ全員が第一希望で合格しました。近年は県内就職が県外就職を上回ってきており、地域と共にある益田翔陽高校を実践しています。また、公務員の合格者は他校と比べても際立っています。進学についても、山口大学工学部、島根大学理工学部、島根県立大学看護栄養学部2名を含め4年制大学が15名、短期大学2名、専門学校等が43名合格するなど、大学進学も珍しくなくなっています。卒業生本人のこれまでの努力はちろんのこと、地域の方々・保護者の皆様・多くの先生方に支えられての結果だと思えます。

また、令和七年度も早くも一ヶ月がたち、万葉公園の木々も緑の葉が生い茂る五月を迎えました。新たに新入生114名を迎え、令和七年度は346名で学習や生活が順調にスタートできています。

また、令和七年度、益田翔陽高等学校は創立二〇年を迎えます。過疎化と

最後にになりましたが、同窓生の皆様方の益々のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、甚だ簡単でございますが挨拶とさせていただきます。

進んでおり、そうした大きな流れの中で「複合型専門高校」として、本校の未来を見据えた学校経営が必要となると思えます。

『しまねの未来・翔陽の未来』

益田翔陽高等学校 教頭 城市直貞



島根県では、令和二年三月に五カ年計画で島根創生計画(第一期)が策定され、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」が将来像として掲げられました。続いてこの三月に「第二期島根創生計画」が、後期の五カ年計画として策定されました。その中には、教

育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針として、「島根県教育大綱」を知事が策定しています。その大綱の柱は何かというところ、

「学びの中核をなす学力」の育成を推進の柱として、「第二期しまねの学力育成推進プラン」は、次の五つの目標から構成されています。一・基礎学力を育成する授業づくりの推進、二・学習習慣の基盤を育む授業づくりの推進、三・幼小中高の学びをつなぐ保育・授業づくりの推進、四・ICTを効果

私も母校での久しぶりの勤務も三年目を迎えますが、この僅か三年の間に保護者として、また県内外の業界人と生との多さに、改めて本校の不変な部分は「地域人材・産業人の輩出」であることを、再認識し実感しています。そのためにも、まずは「生徒の確保」は大命題と考えています。「誰もが、誰かの、たからもの。」島根県のキーフレーズです。

育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針として、「島根県教育大綱」を知事が策定しています。その大綱の柱は何かというところ、

「学びの中核をなす学力」の育成を推進の柱として、「第二期しまねの学力育成推進プラン」は、次の五つの目標から構成されています。一・基礎学力を育成する授業づくりの推進、二・学習習慣の基盤を育む授業づくりの推進、三・幼小中高の学びをつなぐ保育・授業づくりの推進、四・ICTを効果

私も母校での久しぶりの勤務も三年目を迎えますが、この僅か三年の間に保護者として、また県内外の業界人と生との多さに、改めて本校の不変な部分は「地域人材・産業人の輩出」であることを、再認識し実感しています。そのためにも、まずは「生徒の確保」は大命題と考えています。「誰もが、誰かの、たからもの。」島根県のキーフレーズです。

私も母校での久しぶりの勤務も三年目を迎えますが、この僅か三年の間に保護者として、また県内外の業界人と生との多さに、改めて本校の不変な部分は「地域人材・産業人の輩出」であることを、再認識し実感しています。そのためにも、まずは「生徒の確保」は大命題と考えています。「誰もが、誰かの、たからもの。」島根県のキーフレーズです。

令和6年度 益田翔陽高校同窓会 事業報告

日 時	業 務 内 容	会 場	日 時	業 務 内 容	会 場
令和6年 4月4日	第1回理事会 定例総会開催について	赤陵会館会議室	9月5日	令和6年度翔陽高校助成 目録贈呈	翔陽高校校長室
4月18日	監査会	赤陵会館会議室	令和7年 1月28日	顔合わせ会	赤陵会館会議室
4月26日	第1回役員会 5年度報告・6年度案、議長選定、役員新任	赤陵会館会議室	2月6日	課題研究発表会	グラントワ
5月10日	第2回理事会 5年度報告・6年度案、議長選定、役員新任	赤陵会館会議室	2月22日	結成式	赤陵会館会議室
6月8日	定例総会事前準備	赤陵会館会議室	2月28日	第17回 同窓会入会式 (134名 入会)	翔陽高校体育館
6月9日	令和6年度定例総会	サンパレス益田	3月1日	令和6年度卒業式	翔陽高校体育館
7月12日	第3回理事会 総会の反省、新役割担当	赤陵会館会議室	3月27日	第3回役員会 会則改定、規約改定、役員新任	赤陵会館会議室

令和6年度 同窓会収支報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

〈収入の部〉

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1) 会費	1,272,000	1,272,000	0	令和5年度卒業生 @12,000×106人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	16	709	693	貯金利息
4) 寄付金収入	0	0	0	
5) 繰越金	1,328,297	1,328,297	0	
収 入 合 計	2,600,313	2,601,006	693	

〈支出の部〉

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1 事業費	972,100	1,084,260	112,160	
1) 組織強化費	190,000	237,000	47,000	支部総会・旅費助成、総会前夜祭助成
2) 入会記念費	252,100	391,600	139,500	卒業証書ホルダー134冊・同窓会の葉180部
3) 会報印刷費	100,000	55,660	△ 44,340	会報180部
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	
5) 慶弔費	30,000	0	△ 30,000	祝儀・香典
6) 寄付金	0	0	0	
2 事務(管理)費	466,500	554,578	88,078	
1) 会議費	0	0	0	正副会長・理事会
2) 役務費	375,000	280,000	△ 95,000	監査・職員手当
3) 需要費	86,500	269,298	182,798	PC購入、HPホスティングサービス他
4) 雑費	5,000	5,280	280	
〔(1+2)支出計〕	1,438,600	1,638,838	200,238	
『収支差額』	1,161,713	962,168	△ 199,545	
3 特定資産取得支出	0	0	0	
1) 周年事業引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	0	0	0	
4 予備費支出	1,161,713	0	△ 1,161,713	
1) 予備費支出	1,161,713	0	△ 1,161,713	
支 出 合 計	2,600,313	1,638,838	△ 961,475	

収支差引額 962,168

収入額 2,601,006 - 支出額 1,638,838

特定資産	3,513,746 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 12672424
	1,502,017 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 11072571

令和7年度 事業計画 (案)

益田翔陽高校同窓会	
本 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会の開催 (毎年6月) ○ 総会開催助成 (45才期当番実行委員会へ) ○ 理事会 ○ 役員会 (正副会長会) ○ 会報の発行 ○ 入会式 (入会記念品の贈呈、入会の菓の配布) ○ 支部組織強化対策 ○ 母校助成 ○ 母校が求める事業への参加 (入学式、体育祭、翔陽祭、課題研究発表会、卒業式) ○ 母校20周年実行委員会 ○ その他
支 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関西支部総会開催 ○ その他

令和7年度 同窓会予算書 (案)

(令和7年4月1日～令和8年3月31日まで)

〈収入の部〉

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1) 会費	1,608,000	1,272,000	336,000	令和6年度卒業生@12,000円×134名
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	832	16	816	貯金利息等
4) 寄付金収入	0	0		
5) 繰越金	962,168	1,328,297	△ 366,129	
収 入 合 計	2,571,000	2,600,313	△ 29,313	

〈支出の部〉

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1 事業費	1,090,200	972,100	118,100	
1) 組織強化費	240,000	190,000	50,000	関西支部総会助成、前夜祭助成
2) 入会記念費	365,200	252,100	113,100	卒業証書ホルダー・同窓会の菓 122名
3) 会報印刷費	55,000	100,000	△ 45,000	会報、資料印刷
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	母校助成金
5) 慶弔費	30,000	30,000	0	慶弔
6) 寄付金	0	0	0	
2 事務(管理)費	134,800	466,500	△ 331,700	
1) 会議費	10,000	0	10,000	理事会、役員会
2) 役務費	45,000	375,000	△ 330,000	監査・事務局手当
3) 需要費	70,000	86,500	△ 16,500	HPホスティングサービス、事務用品費
4) 雑費	9,800	5,000	4,800	郵送料、振込手数料ほか
〔(1+2)支出計〕	1,225,000	1,438,600	△ 213,600	
『収支差額』	1,346,000	1,161,713	184,287	
3 特定資産取得支出	300,000	0	300,000	
1) 周年行事引当支出	300,000	0	300,000	R8年度 20周年記念事業費引当
2) 会活動引当支出	0	0	0	
4 予備費支出	1,046,000	1,161,713	△ 115,713	
1) 予備費支出	1,046,000	1,161,713	△ 115,713	
支 出 合 計	2,571,000	2,600,313	△ 29,313	

【特別会計】 令和7年度同窓会定例総会对策費予算書

〈収入の部〉

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
総会对策費	350,000	350,000	0	R7年度定例総会実行委員会より
収 入 合 計	350,000	350,000	0	

〈支出の部〉

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
総会对策費	350,000	350,000	0	R8年度定例総会実行委員会へ
支 出 合 計	350,000	350,000	0	

令和7年度(第17回)

益田翔陽同窓会定例総会

◆基本構想◆

- 一、本年度の益田翔陽高等学校同窓会定例総会を六月八日(日)に開催する。
- 二、この定例総会は、平成九年度(平成十年三月卒業)の当番期生として構成する。
「令和七年度、益田翔陽高等学校定例総会実行委員会」が主催する。
- 三、定例総会並びに祝賀懇親会は、サンパレス益田を会場として実施する。
- 四、総会開催資金は、祝賀懇親会出席者の会費により調達する。
- 五、本年度の総会引継式の席上で、次年度総会に関する一切の権限を次期当番期生に引き継ぐ。

◆実行計画大綱◆

一、総会日程及び会場		日時	日	日	会場
午前の部	9時30分～10時00分	総会受付	サンパレス益田		
	10時10分～11時00分	定例総会	サンパレス益田		
	11時10分～11時50分	祝賀懇親会	サンパレス益田		
	12時00分～15時00分	祝賀懇親会	サンパレス益田		
午後	15時00分～15時30分	引継ぎ式	サンパレス益田		

二、総会スローガン
(メイン) 『ご縁は世代を超えて・・・』
(サブ) 『ご出会いと感謝と喜びを』

三、定例総会の参加員計画

- ①会員の総会への参加が多く得られるよう、ポスター宣伝に努める。
- ②総会の案内者
同窓市議会議員、同窓会関係者、歴代実行委員長、当番期各科の恩師、同窓会会員で喜寿を迎えられた方。
- ③総会の招待者(来賓)
益田市市長、県議会議員、益田市教育委員会教育長、(一財)翔陽会理事長。
- ④喜寿(77歳)を迎えられた総会出席者の先輩に「表敬記念品」を贈呈する。

令和7年度「益田翔陽高等学校同窓会」定例総会プログラム

と き：令和7年6月8日
と ころ：サンパレス益田

- ◎ 受付 9:30～10:00 1F ロビー
- ◎ 定例総会 10:10～11:00 2F 総会会場
- 1. 開会宣言
- 2. 総会実行委員長挨拶
- 3. 同窓会長挨拶
- 4. 学校長挨拶
- 5. 祝辞・招待者紹介、祝電披露
- 6. 議長団選出・議事手続
- 7. 議 事
 - 第1号議案 令和6年度 事業報告
 - 第2号議案 令和6年度 収支決算報告
 - 第3号議案 同窓会会則改定(案)
 - 第4号議案 役員選考委員会規約改定(案)
 - 第5号議案 令和7年度 事業計画(案)
 - 第6号議案 令和7年度 収支予算(案)
 - 第7号議案 任期満了に伴う役員・理事選定(案)
 - 第8号議案 その他
- 8. 閉会宣言

----- 会場移動・休憩 -----

- ◎ 祝賀懇親会受付 11:10～11:50 1F ロビー
- ◎ 祝賀懇親会 12:00～15:00 2F 懇親会会場
- 1. 開宴のことば
- 2. 実行委員長挨拶
- 3. 来賓挨拶
- 4. 鏡開き・乾杯
- 5. 喜寿表敬者記念品贈呈式
- 6. ゴルフコンペ結果発表
- 7. アトラクション
- 8. 閉宴のことば
- ◎ 引継ぎ式 15:00～15:30 2F 懇親会会場
- 1. 開式のことば
- 2. 校歌斉唱
- 3. 同窓会旗・ハッピー引継ぎ
- 4. 次期当番期生(平成10年度卒〔平成11年3月卒業〕)代表挨拶
- 5. 万歳三唱
- 6. 閉式のことば

実行委員長

(平成十年卒 益田産業高校
生物生産工学科卒業)



柳田晴治

当番期実行委員長を代表し一言ご挨拶を申し上げます。まず初めに令和七年度益田翔陽高校同窓会定例総会開催にあたり、今日まで同窓会の礎を築いてくださった歴代の会長はじめ本会役員の皆様、多大なるご協力をいただいた関係者の皆様、これまでのご尽力に対しまして、心より感謝申し上げます。近年全国各地で起こった地震や豪雨災害などで、現在も復興には至らず避難所生活を余儀なくされている方々も多くおられます。一日も早い復興を願うとともに、被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、この益田翔陽高校同窓会も今年度で十七回を迎える運びとなりました。日々めまぐるしく変化する世界情勢の中、思うように開催ができない時期もあり、大変悔しい思いと多くのご苦労があったことと想いますが、こうして我々の世代までバトンを繋いでくださいましたこと、当番期生として心から嬉しく思っています。

令和七年度益田翔陽高校同窓会スローガン「ご縁は世代を超えて・・・」ご出会いと感謝と喜びを、を掲げさせていただきます。

私たちがこのスローガンに込めた想いとして、昨年私たちは時期当番期生としてこの同窓会に参加させていただきました。素晴らしい会場の設けのもと、在学中にお世話になった先輩方や、社会人になって県内外でお世話になっている先輩方、二十数年ぶりに再開した先輩方、多くの新しい出会いにも恵まれ、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

引継ぎ式では、皆様から温かいエールをいただき、次は我々でこの同窓会の伝統を受け継ぎ作り上げていこうとメンバー一同決意しました。

この同窓会が過去、現在、未来を繋ぐ「ご縁と出合い」の場であってほしいという思いでこのスローガンを掲げました。

そして、これまで諸先輩方が築いてこられた伝統を継続し、同窓生にとっても、また母校にとっても同窓会が必要不可欠な存在となるよう、実行委員一同、一致団結して今後の同窓会の発展に向けて活動して参ります。

結びに益田翔陽高校同窓会の益々のご繁栄と、生徒の皆様、会員の皆様方、同窓会を通じてお世話になりました方々のご健勝とご多幸を祈念するとともに、今日一日が未来につながる多くのご縁を紡ぎ、感謝と喜びを感じていただけるような同窓会となることを願って私からの挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

◆令和7年度 益田翔陽高校同窓会◆
企画調整会議役員名簿

役職名	氏名	卒業科	
委員長	柳田晴治	生物生産工学科	
副委員長	熊谷崇	環境土木科	
	豊田証治	電子機械科	
部門長	広報資金	吉崎秀行	生物生産工学科
	総会	池田英男	環境土木科
	懇親会	土江忍	総合学科
	アトラクション	久保裕二	環境土木科
副部門長	広報資金	熊谷崇	環境土木科
	総会	領家洋平	環境土木科
		桐山亜沙美	生物生産工学科
	懇親会	中野千春	総合学科
全サポート		田原さとみ	総合学科
	アトラクション	田原義哲	環境土木科
		櫻井太	生物生産工学科
		岩本洋子	電子機械科
事務局長		竹内隼人	生物生産工学科
		吉山和彦	生物生産工学科
事務局長	寺戸豊太郎	生物生産工学科	
会計長	可部淳一	環境土木科	

母校は今

翔陽高校近況報告

生物環境工学科 大 溢 貴 巳

(平成15年3月 環境土木科卒)

令和6年度は、弓道部、男子ソフトテニス部がインターハイに出場するなど部活動を中心に学校が盛り上がりつつ1年となりました。また、県内唯一の複合型専門高校として、地域に根差した教育が実践され課題研究など多くの場面で地域の方々と連携させていただくことができました。

来年度は20周年を迎え記念式典などが開催されることになっています。また、次の30周年に向けて新たなスタートを切る大切な1年となります。今後も益田翔陽高校の発展のためお力添えをいただくと幸いです。

■令和6年度のおゆみ■

- 【4月】 1学期始業式
身だしなみ検査①
9日(火) 入学式・対面式・入寮式
27日(土) 緑の市
- 【5月】 P T A総会
11日(日) 中間試験(〜14日)
14日(火) 総体壮行式
17日(金) 1年遠足
農クふれあい事業 (いも苗植え)
- 22日(水) 生徒会・農ク・家ク合同総会
24日(金) 県総体前期(〜26日)
30日(木) 県総体後期(〜6/2日)
- 【6月】 総体報告会
3日(月) 農ク意見発表校内大会
13日(木) 校内球技大会

- 24日(月) 期末試験(〜28日)
28日(金) 夕方ふれあい市①
- 【7月】 避難訓練①
2日(月) 1年生県内企業見学
5日(金) サイエンスタウン
- 9日(火) 農クプロジェクト発表県大会 (矢上)
- 10日(水) 校内球技大会
19日(金) 1学期終業式
22日(月) 3年夏季補習(〜25日)
30日(火) オープンスクール①
- 【8月】 夕方ふれあい市②
2日(金) 中学生部活動体験①
22日(木) P T A美化活動
24日(土) 寮P T A清掃
- 28日(木) 2学期始業式
- 【9月】 高校生を核とした
3日(火) 地域創成フォーラム
4日(水) 2年生インターンシップ (〜6日)
6日(木) A1農林大学校研修
25日(水) 中間試験(〜27日)
28日(土) オープンスクール②
- 【10月】 体育祭
10日(木) 中学生部活動体験②
12日(土) 2年生県外研修(〜17日)
15日(火) 農クふれあい事業 (いも収穫)
- 18日(金) 農業クラブ全国大会 岩手
22日(火) 農業クラブ全国大会 岩手
【11月】 人権講演会
6日(水) 翔陽祭(〜16日)
15日(金) 期末試験(〜12/3日)
28日(木) 立会演説会・生徒会
【12月】 農業クラブ・
4日(水) 家庭クラブ合同選挙
9日(月) 避難訓練②
11日(水) 校内球技大会

- 12日(木) 総合学科課題研究発表会 (〜13日)
- 18日(水) 生物環境工学科 課題研究発表会
- 24日(火) 2学期終業式
- 【1月】 3学期始業式
8日(水) 生徒会・農業クラブ・家庭クラブ合同総会②
- 24日(金) 電気科課題研究発表会
27日(月) 3年期末試験
1・2年課題考査(〜31日)
- 【2月】 電子機械科課題研究発表会
3日(月) 地元企業セミナー (1・2年)
5日(水) 課題研究発表会 (グラントワ)
6日(木) 学年末試験(〜26日)
21日(金) 同窓会入会式・表彰式
28日(金) 卒業式
- 【3月】 入試学力検査・面接試験
1日(土) 卒業式
5日(水) 1・2年校内球技大会 (〜6日)
11日(火) 生物環境工学科 課題研究計画発表会
17日(月) 3学期終業式・離任式
24日(月) 10月10日(木) 『No.1 for No.1』の一瞬の青春に全力で〜』のスローガンのもと体育祭が開催されました。今年度より実施された部活動対抗リレーでは、出場した選手のみならず応援に全力を注ぐ選手の姿もみられるなど大いに盛り上がりました。応援・ダンスパフォーマンスにおいても、各分団が思考を凝らしたものを披露するなど例年以上に熱気を帯びた体育祭となりました。

翔陽祭

翔陽祭は昨年度とは異なり2日間での開催となりました。1日目は教室棟を中心に各クラスからの模擬店や展示が行われました。体育館では、弦楽部・吹奏楽部演奏会、有志による神楽が行われました。2日目は、農場で農作物・加工品の販売と工業棟周辺でP T Aテント村が開かれ、お米や野菜、草花、ジャム、肉加工品などを求め保護者の方、地域の方にご来場いただき大盛況でした。また、体育館では生徒会が企画をしたステージが行われ、ダンス・バンド・歌などが披露され大いに盛り上がりました。

課題研究発表会

今年度の課題研究発表会もグラントワで行われました。3年生にとっては各科とも1年間の集大成となる発表を全校生徒、保護者の方、地域の方々の前で行うことができました。発表内容は、地域の関係機関と連携した課題研究が多く、毎年充実した研究が多くなってきています。

〈グラントワ発表テーマ一覧〉

学科	発表テーマ
S	農工連携×エディブルフラワー乾燥機の実成Ⅱ
S	ものづくりの発信×かにロボット
S	翔陽高校ポータルサイトの作成×日常生活をもっとスマートに
E	シーケンサを用いたトライボットの製作
E	古民家再生プロジェクト
A	エディブルフラワーで地域活性化Part3 今年こそ1ランクUPの神紅×去年の経験を活かして
A	高齢者の情報格差を無くし、よりよいデジタルライフを
G	ローリングストックで防災意識を高めよう
G	子ども食堂プロジェクト～あたたかい場をつくらう～

生徒の活躍

- 【電子機械科】ものづくりコンテスト(溶接部門) 県大会 2位 ↓ 中国大会出場
高校生ロボット競技大会島根県予選 出場
- 出前授業の実施(年3回)
- 【電気科】電験三種 1名合格
全国工業高等学校長協会ジュニアアマイスター 特別表彰 1名
第二種電気工事士 合格率92.5%
- 【生物環境工学科】家畜審査競技県大会「和牛審査競技」 最優秀賞(2年連続)
家畜審査競技県大会「肉用牛の部」 優秀賞
家畜審査競技県大会「肉用牛の部」 優秀賞
意見発表県大会 区分三類 「資源活用・地域振興」 最優秀賞
↓ 中国ブロック大会出場
農業鑑定競技県大会 区分「農業土木」 最優秀賞(2年連続)
↓ 全国大会出場
優秀賞(2年連続)
- 全国高校生フラワーアレンジメント コンテスト 出場

後記

今年度も部活動、検定競技など、全国で活躍する生徒の姿が見られました。これも先輩たちの礎があったことだと思います。今後も益田翔陽高校の歴史に新たな1ページを加えてくれる後輩たちの活躍に期待してください。月日が経つのは早いもので、益田翔陽高校は創立20周年を迎えました。その間、同窓会の皆さまには多大なご支援をいただきありがとうございます。来年度は周年行事も予定されています。同窓生の皆様には今後もお力添えをいただくと幸いです。何卒よろしくお願いたします。